



一般質問 ... P 2 ~ P 6
5月定例会

町議会審議結果..... P 6
5月定例会

委員会等の動き..... P 8

一般質問のその後を追跡... P 9
~あれから、こうなった~

議会傍聴アンケート
結果報告..... P 10

発行/上川町議会 編集/議会広報特別委員会

上川小学校 (6/9)



中央保育所 (6/17)



上川幼稚園 (7/1)



のぞみ幼稚園 (7/1)

町内で行われた各運動会の様子

(6月9日~7月1日)

一般質問

平成24年第4回町議会（定例2）の一般質問は、5月29日に行われ3議員が5項目について町長等の考えを問いました。（第1質問、第1答弁のみを掲載しています。）

上川町民の減少の歯止めについて

森本 議員



（森本恭弘議員）

現在の上川町の人口は、「広報かみかわ5月号」によると、2012年3月現在、人口4105人・世帯数は2155世帯となっております。

平成9年度からスタートした第8次上川町総合計画において、平成19年の想定

人口が6000人。実際には4508人（H20年3月末）。平成20年度からスタートした第9次上川町総合計画では、平成29年度の想定人口4000人となっております。私は、この第8次計画策定時、当時の町長の諮問機関である上川町産業振興開発青年会議の会長として及び第9次計画では、一般住民の公募として策定に関わらせていただきました。そのような経緯から、私自身も責任を感じております。なんととしても、上川町の人口を4000人以下にするわけにはいかなと、強く思っているところでございます。

また、上川町民の減少す

て頂き、この上川町を維持・継承していく為に、より町民に近い目線で「上川町民の減少の歯止め」へと佐藤町長の舵取りを大きく切っていただく事を強く望みます。佐藤町長の意気込みと考えをお伺いします。

町長答弁

我が町が持つ可能性を最大限発揮させる取り組みが必要である



（佐藤芳治町長）

当町の人口減少についての要因を他町と比較する上で参考になる指標としては、産業別人口統計数値比較による分析が適切かというふうに思いますので、具体的にその内容を報告させていただきます。

平成22年における統計数値によりますと、比較的異動の少ない第1次産業の割合は他の3町平均31・7%に対して当町は11・7%と3分の1以下であります。逆に、景気や災害等による影響を受けるとされております第3次産業は、3町平均52・6%に対して当町は78・1%で約1・5倍になっている現状にあります。1次産業が平成17年から22年までの5年間で27名の減少であるのに対し、3次産業が390名の減、また、2

大雪山連峰を眺望できる旭ヶ丘地区



社による飲料水工場、今年度より取り組みます旭ヶ丘活性化事業の推進、地熱開発による発電事業など環境との共生を図るまちづくりなど、クリーンなイメージを重視し我が町が持つ可能性を最大限発揮させながら、人口減少に歯止めをかける取り組みが必要であるというふうにご理解をお願いいたします。

向かう中、各教育施設の重要性がクローズアップされていくと思われま

紹介するなどして上川高校入学者の確保に努力をすべきと考えますが、どのよう

非常に繊細な問題が秘められているこの課題について、どのような目標と具体策を持ち、取り組みようとしているのかをお聞きしたいと思います。

教育長答弁

町と学校が一丸となり上川高校の存続を図ってまいりたい



（原 邦男教育長）

子供の減少に伴う将来の上川高校存続について

森本 議員

現在、日本本土において人口が減少に転じる中、子供の減少も社会問題として見過ごせない課題となっております。この人口構造の変化は、地域社会の基盤をも揺るがすものとなっております。我が上川町においても子供たちの数が減少傾向に

このことに対しては、教育委員会が中心となり、中学校・高校の先生方と連携し職員自らも、上川高校の魅力

北海道教育委員会からみると、道立高校の統廃合の要件のひとつには地元中学から地元高校への進学率も重要な要素とされていると聞いています。

上川高校校舎



次の時代を担うべき子供たちの進むべき方向については、さまざまな方向のさまざまな考えがあることは充分尊重しなければならぬと思

北海道立高校の配置は北海道教育委員会が示す「新たな高校教育に関する指針」により、基本的考えが示されており、上川高校が指定されております連携型中高一貫教育校において、第1学年全体の在籍数が40人以下、いわゆる一問の増が見込まれない場合に

飲料水工場内(菊水)の様子



6月1日から本格操業が始まります札幌通運株式会

子供たちの数が減少傾向に

は、再編も含め今後の在り方が検討されることとなっております。

町といたしましても地元高校の存続は、町の教育の推進及び地域活性化には欠かすことのできないものであることから、間口対策と保護者の負担軽減を目的に平成元年「上川高等学校通学費等補助金交付要綱」を策定し、さらに平成14年度からは「連携型中高一貫教育」を導入し、魅力ある学校づくりを行い、生徒の確保を図ってきたところであります。

上川中学校から上川高校への進学率はここ数年50%台でありましたが、本年度は将来への職業選択及び部活動の継続のために、上川高校以外の進路決定がなされたものと考えられ32%となりましたが、町外からの入学者により、二間口確保がなされたところでございます。

二間口維持のためには、入学者の確保が重要であることから、町外の中学校に

上高等学校祭の様子



教育委員会と上川高校で9月から11月にかけて22校を2度にわたり訪問するとともに、地域住民に対しては毎月「上高だより」を各戸回覧するとともに、中高一貫教育報告会を開催し、取り組みなどを紹介してまい

す。さらに、上川中学校生徒に対しては2年と3年生時に、また保護者に対しては生徒2年生時に、上川高校の先生による進路説明会を開催するほか、中高生合同で実施されるアウトドア宿泊研修、石狩川水質調査、地域産業体験などを通

じ上川高校の魅力・特色などを説明して、入学者の確保を図っているところでございます。

町といたしましては、今後とも中高一貫教育推進に係る事業費及び通学費を引き続き助成し、町と学校が一丸となり一層魅力ある学校づくりを推進するなどして、1学年二間口維持を図り、上川高校の存続を図ってまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

上川町役場職員及び教職員で町外から通勤している者について

小森 議員



(小森敏弘議員)

本年4月1日現在での人数とその役職等その者に対する

思います。今、多くの自治体で実施が進められています子育て世代への支援策として、義務教育であります中学校卒業までの医療費の無料化を上川町でも実施して頂きたいと考えております。その実行をお願いしたいと思います。

この対策の一つとして、「上川町次世代育成支援対策推進行動計画」を策定し、取り組んでいるところであり、主な子育て支援対策事業として、妊婦一般健康診査14回、超音波検査6回に拡充するとともに、第3子以降の出産に対する

町長 答弁

安心して産み育てることができると子育て支援の施策について検討してまいりたい

出産祝金の贈呈、子育て支援センターについて、福祉会館和室を改修し、保護者のみなさんの要望に応え、今年度から開所場所を固定することといたしました。

厚生労働省が発表した人口動態統計によりますと、出生数から死亡数を差し引いた人口の自然増減数は、平成22年に12万5708人減少、平成23年には過去最高となる20万4000人が減少し、5年連続の減少となり、少子化が急速に進んでおります。

また、上川医療センターに町民のみなさんから要望の強かった小児科を開設し、子どもたちの健やかな成長のための環境を整備し、子育てをしていく過程

する通勤手当等の支給の有無、合せてその金額。その件についての町長としての考えをお聞きかせ下さい。

町長 答弁

今後も該当職員との話し合いをしていきたい

町職員の町外からの通勤者については総数8名で、内訳は一般職3名、専門職5名となっております。一般職の役職につきましては課長補佐1名、副主任幹1名、主任1名であります。

専門職は保育士1名、看護師3名、理学療法士1名であり、役職は看護科長補佐・副主任幹・主査・主任・主事各1名となっております。通勤手当の支給につきましては8名で月額総額13万7200円の支給実績であります。

町職員の町外からの通勤につきましては、基本的には町内居住が求められていくところではありますが、

役場庁舎



結婚、家族の事情や専門職におきましては人材確保の面から、町内居住が困難なことなど、早期に解決することが出来ない事情もありませんことから、今後町内居住が図れるよう該当職員との継続した話し合いをしていきたいというふうに思っております。また、新規採用職員につきましては、採用時に町内居住を基本に対応していくこととしております。

進行する少子化を止めるための具体策について

溝口 議員



(溝口久男議員)

町長は行政執行方針の中で、子育て環境の充実を上げ、急速に進行する少子化の中で、子どもを産み育てやすい環境を整えていくために国や道と連携し情報提供や相談体制の充実を図り、実効性のある子育て支援策を推進してまいりま

す。と述べています。また、その中で保育サービスや出産祝品を挙げています

その他に実効性のある子育て支援策、少子化を少しでも止める具体策があれば示して頂きたいと

国民健康保険料の税率の改正について

町長の行政執行方針の中で、国民健康保険事業は高

親子で楽しく釣り大会



町長の行政執行方針の中で、国民健康保険事業は高

溝口 議員

年齢など疾病にかかりやすい被保険者が多く、医療費が増加傾向にあること、経済状況の低迷により安定的な国民健康保険税の確保が困難なことなどから、と述べ税率引上げを考えておられるようでございます。町民の目線に立ちますと大変、厳しい経済状況の中、払いたくても払えない位負担の重くなって来ている国保加入者の負担軽減のため、町として自由に使える基金（財政調整基金）を多少、取りくずして繰入れは出来ないのか。町長の考えをお伺いします。

町長答弁

計画的な財政運営を行うための基金を取り崩し繰り入れするのは難しい

国民健康保険の被保険者の方々に負担をしていただく国民健康保険税は、被保険者の病气やケガなどで、病院等にかかったときの医



医療センター

療費にあてられる財源となっており、本年度の国保税につきましては、経済状況がまだ好転しないことや、生活習慣病である心筋梗塞や脳梗塞疾患、さらにC型肝炎による肝硬変や肝臓がんの入院費が増高していることなどから、当初予算段階において、一般会計から法定

ルール分以外に1千万円を繰り出し、保険税の軽減を図ることといたしました。現行の保険税率では課税所得が前年を約750万

円ほど下回っておりますことから、当初予算で予定しております現年度分の税額を確保できない状況となりますので、本年度につきましては、資産割を除いた所得割・均等割・平等割に係る税率を改正いたすもので、低所得者の加入者負担を軽減するため、応益分について7割・5割・2割の保険税軽減を行うものでございます。

ご質問にあります、一般会計の財政調整基金からの繰り入れにつきましては、地方公共団体は、経済不況等により大幅な税収減に見舞われたり、災害の発生等により思わぬ支出の増加を余儀なくされたりするもので、このような予期しない収入の減少や不測の支出増加等に備え、長期的視野に立つた計画的な財政運営を行うための基金でありまして、基金の取り崩しにつきましては、地方財政法により処分するための制限が設けられておりますので、国

町議会
審議結果

5月定例会

平成24年第4回上川町議会（定例2）は5月14日に開会し、休会をはさんで5月29日に再開となり同日閉会しました。審議内容は、所管事務調査報告や税条例の改正について、平成24年度一般会計補正予算など10件と、発議案3件。そのほか平成24年度町行政執行方針及び同教育行政執行方針、一般質問が行われました。主な内容は次のとおりです。

可決議案等

条例

上川町印鑑の登録および証明に関する条例の一部を改正する条例について、上川町手数料条例の一部を改正する条例については、関連するものとして一括提案され、外国人住民に関する規定が平成24年7月9日から施行され、併せて外国人登録法が廃止されることに伴い、条例の一部を改正するもの

全員賛成で可決
上川町税条例の一部を改正する条例について、上川町都市計画税条例の一部を改正する条例については、関連するものとして一括提案され、地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴う改正
全員賛成で可決
上川町水源の森設置条例の一部を改正する条例については、森林法の一部を改正する法律に伴い「森林施

業計画」を「森林計画」に改正

全員賛成で可決
上川町産業振興条例の一部を改正する条例については、現行条例は、建物及びその付属施設となっていることから、対象範囲を拡充し助成することにより、更なる産業振興を図るための改正

全員賛成で可決
上川町国民健康保険税条例の一部改正については、税率の改正。5月21日に総務文教常任委員会において調査済み。

賛成多数で可決

設置及び選任

旭ヶ丘地区活性化事業に係る調査特別委員会の設置及び委員の選任については、議長を除く議員全員で構成する。

- 委員長 遠藤 和男
- 副委員長 久米 得正

予算

平成24年度一般会計補正

旭ヶ丘地区活性化事業現地視察の様子



予算（第1号）は、当初予算については、町長・町議選挙のため骨格予算であり、政策関連予算を補正するもの。歳入歳出ともに、10億4755万6千円の増額補正。歳出において、役場庁舎1階多目的トイレ改修工事、旭ヶ丘地区活性化事業、旭ヶ丘フォレストガーデン整備事業、駅前C団地公営住宅取得事業、消防経費負担金事業、住宅リフォーム等補助金交付事業

駅前C団地公営住宅取得事業地視察の様子



などの補正。歳入において、地方交付税、公共施設整備基金繰入金、町債、繰越金などの補正
全員賛成で可決
平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）は、歳出において、早期介入保健指導事業実施に係る共済費、賃金、報償費、旅費他の補正。歳入において、国庫支出金、繰越金の補正
全員賛成で可決
平成24年度一般会計補正予算（第2号）は、税制改

推薦

農業委員会委員の推薦は、川上議員が議長職に就いたため辞任をし、新たに久米得正議員を推薦
全員賛成で可決



（久米得正議員）

議員派遣

議員派遣については、7月3日、札幌コンベンションセンターで開催される、全道町村議会議員研修会及び4日総務文教・産業福祉両常任委員会合同管外行政視察研修の派遣。7月12日美瑛町で開催される「全国森林環境税創設促進議員連盟」定期総会への議員派遣

に対して、**議会・議会広報** みなさまのご意見をお寄せください。

役場議会事務局へ（3階）
代表 ☎ 2 - 1 2 1 1（内線300、301）



委員会等の動き

総務文教

5月21日 所管事務調査
 (1) 上川町国民健康保険
 税条例の一部改正について
 国民健康保険の運営に必
 要な財源の確保を図るた
 め、所得割、均等割及び平
 等割の税率を改正し、資産
 割については据え置くこと

**まちの議会を
傍聴してみませんか**
 次の定例会は9月中旬開催の予定です。
 問い合わせ先
 議会事務局 2-1211(内線301)

とした。また、低所得者の加入者負担を軽減するため、応益分である一人当たりの均等割額・1世帯当たりの平等割額については、それぞれ7割、5割、2割の保険税軽減措置を受けるための調整をした税率改正をする。また、税額は医療分、後期高齢者支援金分、介護納付金分の3区分の合計額で、限度超過額については77万円で改正はない。

このことにより、平成23年度対比は医療分で所得割が0・2%増の6・0%、均等割は2500円増の1万5千円、平等割は2千円増の1万9500円となり、後期高齢者支援金分で所得割が0・2%増の3・8%、均等割は1800円増の8500円、平等割は1600円増の1万500円となった。介護納付金分で所得割が0・25%増の2・85%、均等割は1000円増の1万円、平等割は2500円増の1万500円となり、一人当たり課税額(平均負担額)は7150円増の9万9377円、一世帯当たり課税額(平均負担額)は7911円増の15万1379円とするとの説明を受けた。

委員から、町民の税負担を考慮し、増税とならない

とした。また、低所得者の加入者負担を軽減するため、応益分である一人当たりの均等割額・1世帯当たりの平等割額については、それぞれ7割、5割、2割の保険税軽減措置を受けるための調整をした税率改正をする。また、税額は医療分、後期高齢者支援金分、介護納付金分の3区分の合計額で、限度超過額については77万円で改正はない。

このことにより、平成23年度対比は医療分で所得割が0・2%増の6・0%、均等割は2500円増の1万5千円、平等割は2千円増の1万9500円となり、後期高齢者支援金分で所得割が0・2%増の3・8%、均等割は1800円増の8500円、平等割は1600円増の1万500円となった。介護納付金分で所得割が0・25%増の2・85%、均等割は1000円増の1万円、平等割は2500円増の1万500円となり、一人当たり課税額(平均負担額)は7150円増の9万9377円、一世帯当たり課税額(平均負担額)は7911円増の15万1379円とするとの説明を受けた。

委員から、町民の税負担を考慮し、増税とならない

とした。また、低所得者の加入者負担を軽減するため、応益分である一人当たりの均等割額・1世帯当たりの平等割額については、それぞれ7割、5割、2割の保険税軽減措置を受けるための調整をした税率改正をする。また、税額は医療分、後期高齢者支援金分、介護納付金分の3区分の合計額で、限度超過額については77万円で改正はない。

このことにより、平成23年度対比は医療分で所得割が0・2%増の6・0%、均等割は2500円増の1万5千円、平等割は2千円増の1万9500円となり、後期高齢者支援金分で所得割が0・2%増の3・8%、均等割は1800円増の8500円、平等割は1600円増の1万500円となった。介護納付金分で所得割が0・25%増の2・85%、均等割は1000円増の1万円、平等割は2500円増の1万500円となり、一人当たり課税額(平均負担額)は7150円増の9万9377円、一世帯当たり課税額(平均負担額)は7911円増の15万1379円とするとの説明を受けた。

委員から、町民の税負担を考慮し、増税とならない

**議会広報特別委員会
の構成員が変わりました**
 平成24年4月25日から新たな委員構成となり、町民により親しまれる議会広報作りを目指して頑張りますので、よろしくをお願いします。
 委員長 小森 敏弘、副委員長 川村 都子
 委員 遠藤 和男、森本 恭弘、溝口 久男



その他の動き
 全員協議会
 5月9日
 (1) 旭ヶ丘地区活性化事業について
 5月10日、5月22日
 第4回町議会(定例2)の運営について
 議会運営委員会
 5月17日、第145号の編集について
 6月14日、6月26日、第146号の編集について

一般質問のその後を追跡 あれから、こうなった!!

紙面冒頭で毎回掲載している一般質問は、議員が町の行財政について事務の執行状況や将来に対する方針等について説明を求めるもので、それに対し町長や教育長からは調査・検討するなどの答弁をいただいております。そこで、「あの一般質問の後、どうなったのか」といった疑問をお持ちの町民の皆さまに対し、今後は紙面を通じて「あれから、こうなった」と、わかりやすくお伝えすることにしました。今回は、2名の議員が行った一般質問その後の結果について、紹介いたします。

「住宅リフォーム助成制度」を

質問 平成22年9月定例会

地域経済が低迷する中、地元業者の仕事や雇用の確保、また自宅をリフォームして改善し、住みやすい住環境を願う町民の思いに応えて助成制度を検討されることを提案したい。

町長答弁

住宅リフォームの住民要望は多いものと思われま。道内においても14市町村で条例及び要綱により制度化しております。住民にとって使い勝手が良く、上川町の現状にあった制度内容を調査研究するため、少し時間をいただき、早めに結論を出したい。

質問 平成23年9月定例会

1年を経ての住宅リフォーム助成制度の調査研究の結果は。

町長答弁

既存の助成制度との調整と現状に合った制度内容と方向性を出すために、今しばらくの時間をいただきたい。

そして、こうなった!

平成24年6月1日より「上川町住宅リフォーム等補助金交付要綱」が施行され、5月定例会において、「住宅リフォーム等補助金」として補正予算1千万円が提案され可決されました。

上川町産業振興条例について

質問 平成23年9月定例会

上川町での中小零細の製造業の衰退は町の構成や雇用に影響を与えます。生産ラインは企業のライフラインであります。

行政支援ができる制度設計を立ち上げておく必要性について伺います。

町長答弁

平成9年に施行した条例であり、近年の社会情勢、町内の産業構造等を考慮し時代のニーズに適應した制度が必要。生産ライン等の設備について、行政支援ができる制度設計につきましては、必要だと考えておりますことから施設の対象範囲の拡大及び投資額等の条例改正について検討して参りたい。

そして、こうなった!

平成24年5月定例会において、「上川町産業振興条例の一部を改正する条例」として提案され可決されました。

現行条例では助成対象は、施設の新設または、増改築する建物及びその付属施設となっていることから、対象範囲の拡充(対象施設に機械及び装置を加え)と補助率の向上により、さらなる産業振興を図る主旨の改正が行われました。



議会傍聴アンケート結果報告

5月29日に再開した第4回町議会(定例2)に46名の傍聴がありそのうち、アンケートにご協力をいただいた6名の方の回答について下表のとおり報告いたします。なお、疑問等に対する回答を付記しました。今後も多数の傍聴をいただき、ご意見等を参考に改善に努めて参ります。



対象者(性別・年代・人数)	議会を傍聴してどんな感想をもちましたか			議会や議会広報に対するご意見や気のついた点等
	良い点	悪い点	気のついた点	
男性 60代～70代 6名	<p>質疑応答が非常に緊迫感があって良かったと思います。それは多数の傍聴者がいたためではないかと思えます。</p> <p>新人議員3名の質問は大変良かったです。皆、上川町の事を思っていると思いました。</p> <p>一般質問は3人と少なかったが、新人議員の質問で大変初々しく良かったと思う。</p>	<p>議長の言うとおり、答弁は絞り込んで行く必要がある。</p> <p>答弁者の声が小さく、傍聴者には老人が多く皆、耳が遠くなっていると思えますので、もう少し大きな声で答弁していただきたいと思えます。</p> <p>議会開会当初に以前は町民憲章を朗唱していたが何故やめたのか。</p> <p>(回答)5月14日に開会し、その日に町民憲章を朗唱しております。今回は休会後の議会再開であったため、朗唱は行いませんでした。</p>	<p>白寿大学の方の他にも町民の方が多く来る事を望みます。議員予定者の声を聞く会を開催した実行委員の傍聴を望みます。</p> <p>良し悪しという事より新人議員の方の質問の要旨等に関心を持ちましたので傍聴させていただきました。</p> <p>窓口対応については以前より少しよくなってきていると思う。</p>	<p>定例議会の他に委員会も傍聴出来る様にして案内してほしい。</p> <p>(回答)委員会については委員長の許可を得て傍聴することが規則で認められており、役場正面の掲示板に告示をしております。</p> <p>これまでもそれなりに取り組まれていますので、引続き町民との接点に努力されるよう期待いたします。</p> <p>居眠り議員は見当たらなかった。住民も選挙で選べばそれで終わりでは無責任すぎるので、今後も議員活動を見守って行きたい。再質問は座ったままでよくなったのか。</p>
女性 80代 1名		<p>新しい議員だったので時間がかかりました。お互いに勉強会でも持って、解りやすく、なるべく簡単をお願いしたいと思います。</p>	<p>老人も頭のリフレッシュになりました。</p>	